

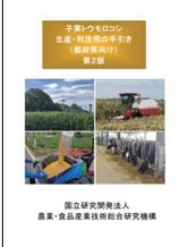
新しい研究成果や知見を加えて全面改定した 「子実トウモロコシ生産・利活用の手引き(都府県向け)第2版」

飼料の国産化や水田営農の維持に向けた省力化などのニーズを受け、飼料用トウモロコシを水田転換畑で生産する取り組みに関心が高まっています。そこで、農研機構は、「子実トウモロコシ生産・利活用の手引き(都府県向け)第2版」とその要約版を公開しました。

☆ 技術の概要

1. 本手引きは、2019年3月に第1版が公開されて以降、農研機構や公設試、大学等が連携しながら取り組んだ研究の成果や新たな知見を結集し、第2版として全面的に改訂したものです。
2. 子実トウモロコシの生産から濃厚飼料としての利用、環境影響評価、取り組み事例に至るまで一連の技術情報が体系的に整理されていますので、農業技術の指導者や先導的な生産者向けの研修会や講習会でのテキストに適しています。
3. 本手引きの本編の他に、概要を把握することのできる約20ページの要約版も用意しました。要約版では、品種の選び方や栽培・収穫・調製方法、飼料としての使い方など本編のポイントを分かりやすく紹介しています。

表 「子実トウモロコシ生産・利活用の手引き(都府県向け)第2版」の内容

 二次元バーコードより本編と要約版のいずれもご覧いただけます	1章 子実トウモロコシとは	1)飼料用トウモロコシの中の子実トウモロコシ 2)都府県における子実トウモロコシ生産・利活用上の技術的課題
	2章 品種の選定	1)基本的な考え 2)選定された子実トウモロコシの有望品種 3)品種選定試験の詳細
	3章 栽培管理	1)基本的な考え 2)播種 3)肥培管理 4)雑草防除 5)病虫害対策 6)収穫 7)残茎・残渣処理
	4章 調製・貯蔵	1)基本的な考え 2)乾燥調製・貯蔵 3)サイレージ調製・貯蔵 4)粉碎・蒸気加熱加工
	5章 飼料利用	1)基本的な考え 2)飼料品質 3)乳牛への給与 4)肉牛への給与 5)豚への給与 6)鶏への給与
	6章 トウモロコシ子実の国産化による温室効果ガスの削減効果	1)システム境界 2)生産過程(畑)での発生量 3)乾燥工程での発生量 4)輸送時の発生量
	7章 取組事例	1)岩手県花巻市(寒冷地) 2)千葉県成田市(暖地) 3)山形県庄内地域における取り組み(スマート・テロワールプロジェクト) 4)国産子実トウモロコシ給与豚肉「みちのくの心意気」のブランド化と販売について
	8章 用語解説	

☆ 活用面での留意点

本手引きには以下の農林水産省委託プロジェクト研究の成果の一部が含まれます。
「畜産生産の現場に濃厚飼料を安定・低コストに供給できるシステムの開発」(JPJ009818)
「子実用とうもろこし(国産濃厚飼料)の安定多収生産技術の開発」(JPJ011278)

(農研機構・畜産研究部門 畜産飼料作研究領域 阿部佳之・内野宙)